

ふれあい

第67号(令和元年10月31日)
阿品台コミュニティ事務局(TEL39-4338)
阿品台地区人口・世帯数(令和元年10月1日現在)
人口 7,485人(64人減) 男3,390人 女4,095人
世帯数 3,354世帯(32世帯増)・高齢化率 39.3%(1.3%増)
()内の数値は平成31年2月1日との比較

阿品台コミュニティ・新会長挨拶



高齢化社会でのコミュニティのあり方

元号が平成から令和へとかわった今年度から、阿品台コミュニティの会長職を仰せつかりました山口三成です。

阿品台は 12,000人が住める大型団地として造成されて40年以上経過しました。一時期 11,800人いた人口も少子高齢化の波に乗り、7,500人程に人口が減少した団地となり、更には高齢化率が高くなり、空き家が多く見受けられ侘しさを感じるようになりました。

このような状況下で、関口前会長の後任としてあとを継ぐことの責任感の大きさに悩みましたが、誰かが引き受けなくてはと思い、微力ながら引き受けることを決めました。

静かな瀬戸の海に浮かぶ世界遺産の宮島が眼下に観られ、住環境・教育環境・生活環境が整っているこの阿品台を、【どのように情報発信し、子育て世代の転入を増やし地域の活性化を図るか】が大きな課題ととらえています。しかし、日本全国の市町村が同じ課題をかかえている中、子育て世代の獲得競争にいかにして勝ち抜くか、行政とともに考え行動に移していきます。

同時に高齢化は願わなくてもやってきます。高齢者社会でのコミュニティのあり方についても同時に進めていくべきと考えています。私たち親にとっては第二の故郷ですが、子供たちや、孫たちはこの阿品台が故郷です。この40年間つくりあげてきた阿品台の歴史や文化を子ども達や孫の時代まで継続していきたいものです。

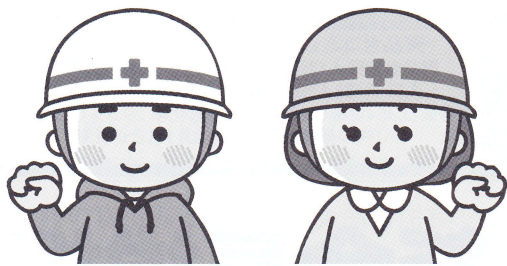
住みたい街・住み続けたい街は、そこで生活している人同志の相互理解・信頼の中で、暮らしの質を高めていかなければなりません。そのためには皆さん一人ひとりの協力が必要です。

非常時には、遠くの家族より近くの住民が一番頼りになります。もう一度、各町内会のコミュニケーションを見直し、多くの笑顔がみられ安心して安全な街にしましょう。

終わりにになりますが、阿品台コミュニティも高齢化が進み、何時まで継続できるのか心配する時期にきています。地域のために少しでも活動したい方を募集しています。

是非多くの方の参加をお願いしまして、就任あいさつとさせていただきます。





早めの避難で 人災0件

阿品台自主防災組織
会長 山口三成

【阿品台地区自主防災組織】は平成 25 年に発足しました。

平成 28 年度から阿品台自主防災組織会長として早 4 年、毎年自主防災訓練を行い阿品台住民の災害意識をたかめる啓発活動を進めてきました。また、旧廿日市 11 地区の自主防災組織会で構成されている、【廿日市自主防災組織連絡協議会】を年 4 回開催し、災害発生時、11 地区の自主防災活動がいかに連携し行動をすべきかなど協議しているところです。

最近発生している自然災害。年々被害が大きくなっているように感じています。何時発生しても不思議ではないと言われている、南海トラフを震源とする南海地震。地震災害は情報から数秒のうちに発生し、対応の時間はありません。事前に家具の転倒防止対策や非常食対策を講じておくことが、最大の減災対策です。

広島で発生した二度の大きな豪雨災害。阿品台には河川が無いので洪水災害は発生しませんが、線up降水帯が阿品台上空に発生した場合大雨となり、【土石流】・【がけ崩れ】・【地滑り】などの土砂災害が発生します。大雨情報は数日前にはテレビやスマートフォンなどから情報が入ります。危険だと感じたら、自分で判断し早めに明るいうちに、大雨になる前に避難しましょう。

【避難すべき人達】は、ハザードマップに記載されている**レッドゾーン**(土砂災害特別警戒区域) **イエローゾーン**(土砂災害警戒区域) 内に住まいの方々、またイエローゾーンに隣接し自分で避難したほうが良いと感じた人達です。上記以外(**安心ゾーン**)にお住まいの方は自宅で待機しましょう。

【避難時期】ですが、大雨警報や洪水警報が発令され、行政防災無線で避難準備情報が発令されたら(警戒レベル 3)、避難準備ができ次第避難しましょう。土砂災害警戒情報や氾濫危険情報が発令され、行政防災無線で避難勧告(警戒レベル 4)が出るころには大雨が降りだしている可能性があり、避難事態が危険にさらされる可能性があります。早めの避難を心がけましょう。防災無線は聞こえない状況もあります。【避難勧告発令時にはサイレンを 3 回鳴らします】サイレンの音が聞こえたら避難しましょう。

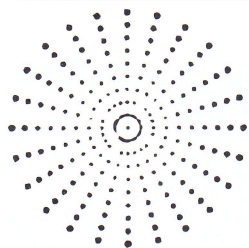
【避難場所】ですが、安全な状況だったら避難所(市民センター)に、大雨や暗い時間帯で避難が困難なときは安心ゾーンの知り合いの家や町内の集会所へ避難しましょう。避難準備情報(警戒レベル 3)の段階では指定緊急避難場所の小学校や中学校は開放していませんので、ご注意ください。

阿品台自主防災組織では、【早めの避難で人災 0 件】を目指して活動していきます。そのためには各町内会の協力が欠かせません。阿品台は大きな団地で、呼びかけや避難誘導が迅速にできかねます。避難所への避難誘導は各町内会で行動できる体制づくりが不可欠です。各町内会に自主防災組織を立ち上げ、避難準備情報が発令されたら各町内会の集会所を開放し、一次避難場所として活用して下さい。安心・安全なまち阿品台づくりにご協力をお願いします。



阿品台自主防災訓練より

令和元年阿品台コミュニティ前期事業



第40回 阿品台夏祭り記念大会

8月3日(土) 阿品台東小学校グラウンドで第40回 阿品台夏祭り記念大会が開催されました。連日 35℃を超える猛暑日が続く中、午後5時から集まってくれた子ども達を対象に「ちびっ子ジャンケンポン大会」が始まりました。

会場の周りには、各町内会や学校などの屋台が設置され、子ども達が浴衣姿等で着飾って楽しんでいました。「ファンファーレ開会式」後、広島響ウインドオーケストラの演奏、盆踊り、続いて花火が打ち上げられ、最後は記念大会特別賞3本がステージで発表されました。



青少年・体育部

阿品台ウォーキング&宝探し

健康増進と子ども達とのふれあいを目的に、令和元年6月23日(日)に阿品台東小学校をスタート、阿品公園をゴールとする2.5km(初級コース)と4.1km(チャレンジコース)に総勢93名の方が参加しました。

町内会選出広報部員のコメント

短い距離で一緒に歩かせてもらいました。1人で歩くウォーキングとは違い、皆で一緒に歩くウォーキングは、あっという間で、とても気持ち良かったです。来年もぜひ参加したいです。



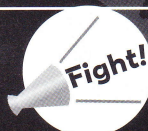
第2回 キックベースボール

9月8日(日) 炎天下の中、子ども32名、大人29名、4チーム(役員含む)の参加でした。

状況に応じてルール変更もありましたが、参加者全員プレーを楽しみました。優勝はカープチーム、準優勝は阿品スカイヤーズ、3位は4丁目キッズチームでした。



宮島トライアスロン大会 6月16日(日曜日)



沿道で声援を送った町内会選出広報部員のコメント

男性は勿論、女性の方も一生懸命頑張っていて、見ていて自然と応援していました。選手の方も疲れている筈なのに笑顔を見せてくれる人もいました。



母の日コンサート

・日時:5月12日(日)13:30~15:00 ・場所:阿品台市民センター
・ピアノ演奏者:宮田みどり ・参加者:105名(内子ども達25名)

今回の宮田みどりさんは阿品台住在で3年前のワインコンサートに、二階堂和美さんのご主人ガンジーさんと出演頂いています。今回は子ども達が多く賑やかなコンサートとなりました。前半は日本の懐かしい曲 茶摘み、夏は来ぬ、蛙の合唱と JAZZ 等で、後半はオリジナル曲や会場からのリクエストの即興と多彩な演奏を楽しみました。お帰りには全員にカーネーションを渡し日頃の感謝の意を伝えました。



春の日帰り研修旅行

～白野江植物公園、門司港のレトロ地区・
武蔵と小次郎の「決闘の地」を訪ねて～

・日時:5月13日(月) ・参加者:88名

予定ではフジの名園、河内藤園を予定していましたが、5月12日で閉園となり白野江植物公園に変更しました。白野江植物公園は開園当時個人の植物園でしたが、1993年に北九州市が買い取り整備しています。門司港では門司駅、九州鉄道記念館などを見学し武蔵と小次郎の決闘の地 巖流島へ、現地ではボランティアガイドさんから3組に分かれ説明を聞きました。敗れた小次郎を想う地元の人は小次郎の流派を取り、後に巖流島と呼ぶようになったとの事。昭和48年までは人が住んでいましたが今は無人島となっています。



タコ料理教室

・日時:7月1日(月)
10:00~13:00
・場所:阿品台市民センター調理実習室
・参加者:24名



「半夏生にたこを食す」とは、農家は田植えが無事終わりますようにと神様にたこを捧げ、それを食していました。たこはタウリンを多く含み疲労回復に効果があることからの由来とされています。今年も魚講座として7月2日の半夏生の前日に、お魚かたりべ 東 邦彦講師を招き開催しました。生たこの調理の仕方、ゆで方を学び、たこご飯、刺身、てんぷら、炒め物と豊富なメニューに舌鼓を打ちました。



サマーコンサート

・日時:8月25日(日)13:30~14:50
・場所:阿品台市民センター ・三味線演奏者:河野 ひとし
・参加者:70名(内子ども達5名)

河野さんは広島市を中心に活動されています。5月に大野東市民センターで演奏され好評との事で、阿品台でも是非とお願いしました。津軽三味線の弾き方やテンポによる曲の違いの説明を受けながら、貝殻節、ソーラン節、津軽じょんがら節などで盛り上がりました。途中コーヒートと手作りクッキーで休憩を挟み、津軽三味線の力強い演奏に心打たれた感動的なひと時でした。



洋風家庭料理

・日時:9月10日(火)10:00~13:00
・場所:阿品台市民センター調理実習室
・参加者:23名



広島市内でレストラン「ビストロパグ」のシェフ関口慶三さんを講師に洋風家庭料理講座を開催しました。献立はじゃがいもの冷製スープ、鶏つくねハンバーグ、パンナコッタで家庭にある食材で作ることが出来るものばかりでした。ソース作りに一味調味料を足すとプロの味に変身!魔法の調理法を教わり美味しく楽しいひと時でした。

